



環境省

エコアクション21

認証番号0008050

株式会社 トーホー

環境経営レポート2021

■ 対象期間:2021年5月～2022年4月

■ 発行日:2022年7月20日

〒994-0063 山形県天童市東長岡4丁目2番17号

TEL023-658-4115(代) FAX023-658-4114

<https://www.tohoinc.com>



～CONTENTS～

- 1. 経営理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・p2
- 2. 環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・p2
- 3. 事業内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・p3
- 4. 組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・p4
 - 4-1. 事業者名及び代表者氏名
 - 4-2. 所在地
 - 4-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先
 - 4-4. 設立年月日
 - 4-5. 資本金
 - 4-6. 事業活動の内容と対象サイト(認証・登録範囲)
 - 4-7. 事業の規模
 - 4-8. 環境マネジメントシステム実施体制
- 5. 環境負荷の現状(2019年度環境負荷自己チェック結果より)・・p5～6
- 6. 環境経営目標及びその達成状況・・・・・・・・p7～13
- 7. 環境経営計画と取組状況の評価・・・・・・・・p14
- 8. 2020年度の環境経営目標と環境経営計画・・・・・・p15
- 9. 環境関連法規等の遵守状況, 訴訟等の有無・・・・・・・・p15
 - 9-1. 適用を受ける環境関連法規等とその遵守状況
 - 9-2. 訴訟等の有無
- 10. 代表者による全体の評価と見直し・・・・・・・・p16



株式会社 トーホー本社(山形県天童市)

1. 経営理念



トーホーは、水資源の有効活用と省エネルギー化を推進し、大切な資源を次の世代へとつなぎます。

2. 環境経営方針



環境理念

株式会社 トーホーは、地下水浄化システムの製造販売・メンテナンスならびに省電力システムの提案・施工・販売などの業務を通じて、お客様に、低コストで、安全・安心な水を提供し、また、省エネルギー推進のお手伝いを行っています。

私たちは、エコアクション21環境経営システムを運用することによって、継続的に自らの事業活動が環境に与える影響と負荷を可能な限り削減していくとともに、豊かな自然が育んだ恵まれた水資源を大切に、エネルギーの有効利用を通して、社会に貢献してまいります。

環境行動指針

- 事業活動に伴う二酸化炭素排出量を削減します。
- 事業活動に伴う廃棄物の排出量を削減し、再資源化を推進します。
- 自らの水使用量の削減に向けた取組を推進します。
- 化学薬品の適正使用・管理を行います。
- 製品の製造・稼働・廃棄に伴う環境負荷の削減を目指します。
- 事業活動を通じて、お客様の環境負荷削減に貢献します。
- 環境関連法規等を遵守します。
- SDGs（持続可能な開発のための2030アジェンダ）を意識しつつ、環境問題を幅広く捉えて、行動していきます。
- 環境経営システムを定期的に見直し、継続的に改善していきます。

制定：2011年7月1日（最終改訂：2020年7月20日）

代表取締役社長 横澤裕一

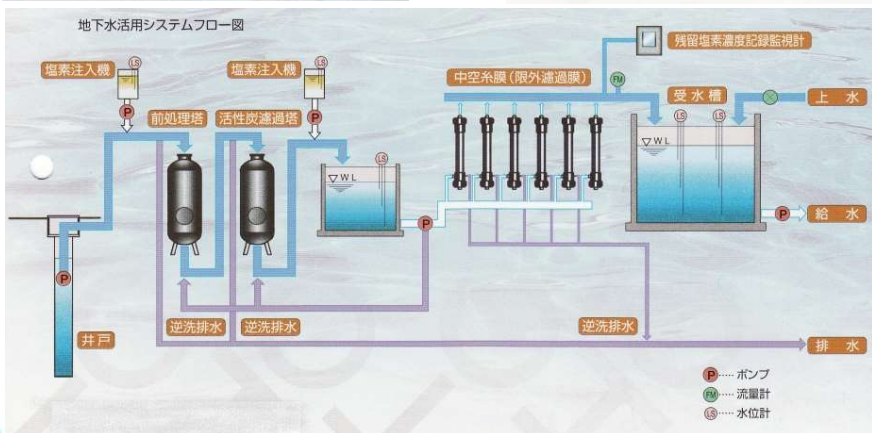


3. 事業内容



地下水活用システム

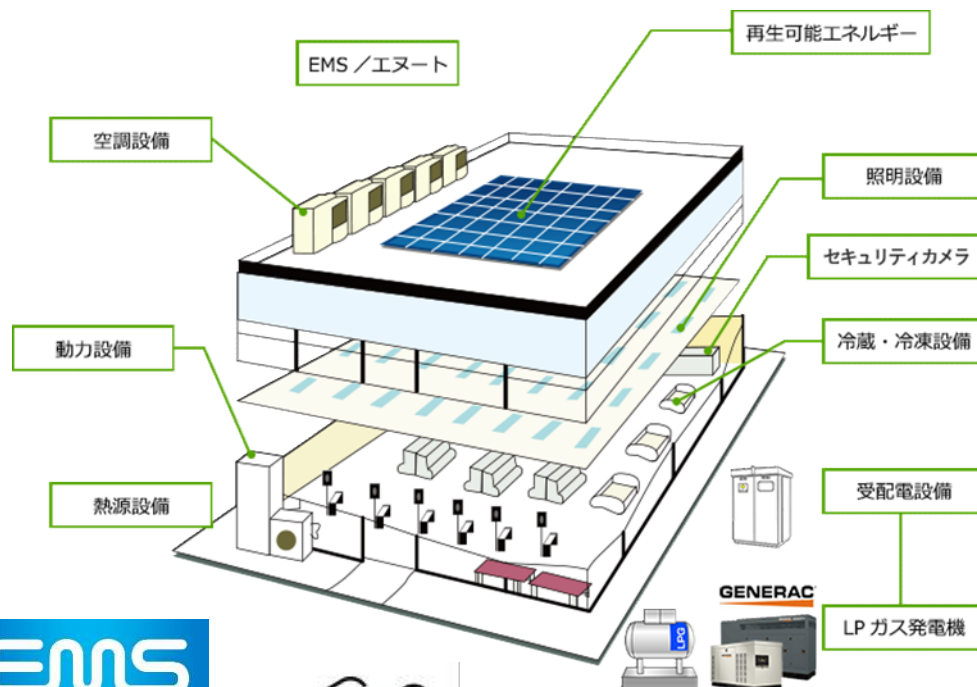
トーホーの地下水活用システムは、お客様の敷地内に井戸を掘削し、その水質に応じて適切な前処理装置と膜ろ過装置を導入することで、水を安定的に供給します。設備設置後は定期メンテナンス、緊急時の対応まで一貫で承っていますので、綿密なアフターサポートが可能です。



今後、ますます重要になる地下水の有効活用と、電気をはじめとする省エネルギー化。トーホーは、日本の未来を見据えた環境事業に取り組んでいます。

省電力システム

トーホーが省電力機器の販売を開始したのは昭和57年のことです。信頼と実績を積み重ね、現在まで事業を継続して参りました。また、エネマネ（EMS）事業者としての特性を活かし、LED照明やデマンド監視装置、BCP対策としてのLPG自家発電システム、初期投資ゼロのレンタルシステムなど、様々な製品・システムをご提案。お客様の設備状況に応じ、より良い経費削減と環境改善を提案します。



■株式会社 トーホー ■代表取締役社長 横澤裕一

■本社・東北支店：〒994-0063 山形県天童市東長岡4丁目2番17号
TEL023-658-4115（代） FAX023-658-4114

■東京支店： 〒110-0016 東京都台東区台東2丁目25番6号
勝徳ビル

TEL03-3835-0191 (代) FAX03-3835-0195

■大阪支店： 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町41-14 榎原ビル
TEL06-4861-2630（代） FAX06-4861-2631

■ 札幌営業所： 〒062-0002 札幌市豊平区美園2条5丁目2番10号
株式会社テー・イー・エス事務所内
TEL011-831-9751（代） FAX011-831-9992

■環境管理責任者：東北支店長 岡田光一

■連絡担当者：エコアクション21推進事務局 神野正孝

■連絡先：TEL023-658-4115（代） FAX023-658-4114

■ Email : m-kanno@tohoinc.com

1975年（昭和50年）5月30日

■ 9, 000万円

■事業活動の内容： 地下水活用システムと浄化装置の設計施工ならびに
メンテナンス業務、エネルギーマネジメントシステムの構築・販売

■対象サイト : 本社（東北支店）・東京支店・大阪支店・
札幌営業所・建設現場

※事業年度は毎年5月～翌年4月まで

事業年度※		2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年
事業規模の指標						
売上高(百万円)		1,931	1,883	2,242	1,804	
従業員数 (人) ※5月1日 時点在籍	合 計	50	51	54	52	54
	本 社	14	15	17	17	18
	東京支店	28	28	29	27	27
	大阪支店	8	8	7	7	8
	札幌営業所	常駐せず		1	1	1
地下水浄化装置数(管理対象)		130	132	136	136	

```

graph TD
    Rep[代表者  
代表取締役社長  
横澤 裕一] --- Env[環境管理責任者  
エコアクション21  
推進委員長  
東北支店長  
岡田 光一]
    Env --- Eco21[エコアクション21推進事務局]
    Env --- Eco21Com[Ecoアクション21推進委員]
    Eco21Com --- Eco21ComSec[Ecoアクション21推進委員長  
東京支店長  
中瀬賢一郎]
    Eco21ComSec --- Eco21ComSecSec[Ecoアクション21推進副委員長  
省電力事業部長  
内山 孝司]
    Eco21Com --- Eco21ComTohoku[Ecoアクション21東北支店委員  
黒田 翔  
小笠原 隆寛]
    Eco21ComTohoku --- Eco21ComTohokuSec[建設現場  
現場代理人]
    Eco21ComTohokuSec --- Eco21ComTohokuSub[下請企業  
協力企業]
    Eco21Com --- Eco21ComTokyo[Ecoアクション21東京支店委員  
松本 真征  
三木 康太]
    Eco21ComTokyo --- Eco21ComTokyoSec[建設現場  
現場代理人]
    Eco21ComTokyoSec --- Eco21ComTokyoSub[下請企業  
協力企業]
    Eco21Com --- Eco21ComOsaka[Ecoアクション21大阪支店委員  
西本 恭平]
    Eco21ComOsaka --- Eco21ComOsakaSec[建設現場  
現場代理人]
    Eco21ComOsakaSec --- Eco21ComOsakaSub[下請企業  
協力企業]
    Eco21Com --- Eco21ComKamatsu[Ecoアクション21札幌営業所]
    Eco21Com --- Eco21ComTohoku2[Ecoアクション21東北幹石  
堤 千加]
    Eco21ComTohoku2 --- Eco21ComTohoku2Sec[建設現場  
現場代理人]
    Eco21ComTohoku2Sec --- Eco21ComTohoku2Sub[下請企業  
協力企業]

```

エコアクション21推進委員

副委員長
東京支店長
中瀬賢一郎

副委員長
省電力事業部長
内山 孝司

東北支店委員
黒田 翔
小笠原 隆寛

建設現場
現場代理人

下請企業
協力企業

東京支店委員
松本 真征
三木 康太

建設現場
現場代理人

下請企業
協力企業

大阪支店委員
西本 恭平

建設現場
現場代理人

下請企業
協力企業

札幌営業所

東北幹石
堤 千加

建設現場
現場代理人

下請企業
協力企業

代表者
代表取締役社長
横澤 裕一

環境管理責任者
エコアクション21
推進委員長
東北支店長
岡田 光一

エコアクション21推進事務局

東北支店
(札幌営業所)
東京支店
大阪支店

神野 正孝
村井 祐菜
柴原 麗子
森下 香織

5. 環境負荷の現状（2021年度環境負荷自己チェック結果より）



※集計期間は、当社会計年度に合わせ、毎年5月～4月とします。

※廃棄物排出量を除き、建設現場における環境負荷は含まれていません。なお、当社が行う建設工事の大部分は下請け業者が行っており、当社が直接施工することはほとんどありません。

A. 二酸化炭素排出量（温室効果ガス排出量）

※電力使用に係る二酸化炭素排出係数については、各電力小売事業者の令和2年度調整後排出係数（東北電力：0.457、東京電力エナジーパートナー：0.443、関西電力：0.351）を用いています。

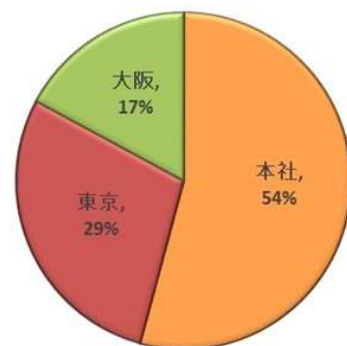
1) 当社における2021年度（2021.5～2022.4）の二酸化炭素排出量は合計133 t（本社：72t、東京：38t、大阪：23t）となっており、一般家庭（年間3.90t：2020年度）約34軒分の排出量に相当していました。前年度比11.5%減（本社：3.0%減、東京：19%減、大阪：22%減）となっています。

2) 2021年度当社から排出された二酸化炭素の77%は化石燃料の使用に伴うもので、その中でもガソリンが79 tで、全体の60%を占めていることが判りました。以下、電力消費に伴うものが22%、軽油7.6%、LPG10.2%（本社暖冷房）となっていました。（図1）

<図1：二酸化炭素排出源（2021年度）>



<図2：エリア別排出割合>



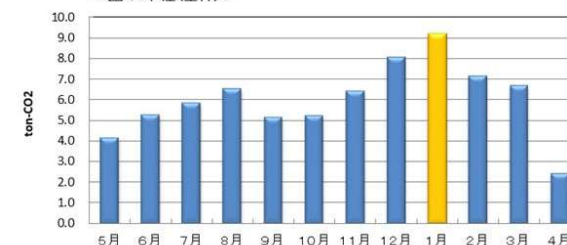
3) エリア別の排出量では、全体の54%が本社、東京29%、大阪17%となっていました。（図2）それぞれの発生源割合は、本社（ガソリン 55%、電力22%、LPG19%）、東京（ガソリン51%、電力31%）、大阪（ガソリン89%、電力11%）といずれもガソリンの負荷が最も大きくなっていました。（図3）

4) 月別の排出量では、本社においては、暖房時の1月にピークが表れています。（図4）冬期間の増加分は電力とLPGの消費によるものと思われます。東京では、9月に、大阪では、6月に使用量のピークが見られました。（図5,6）

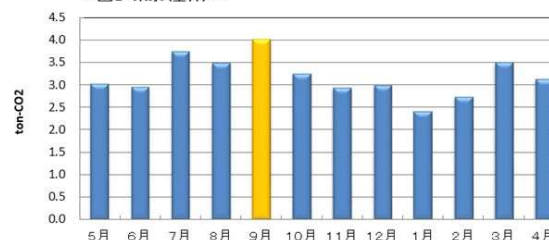
<図3：CO2排出源>



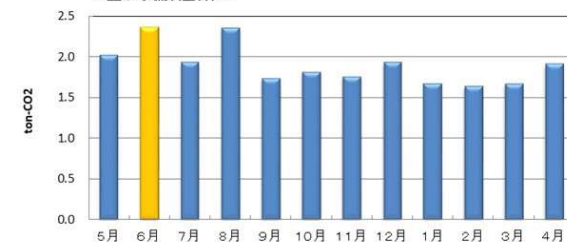
<図4：本社(全体)>



<図5：東京(全体)>



<図6：大阪(全体)>

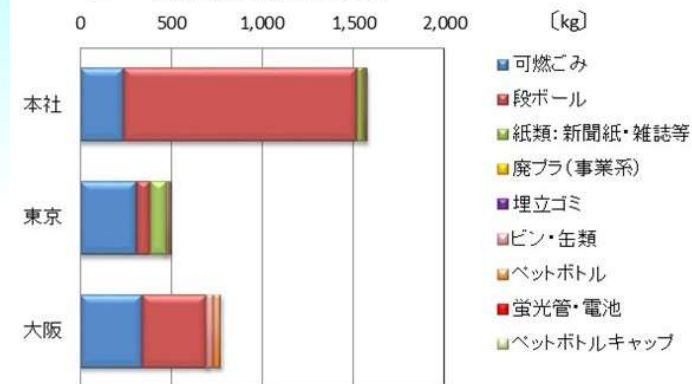


B. 廃棄物排出量

■一般廃棄物排出量

- 1) 2021年度において、本社1,575kg（前年比6.5増）、東京497kg（同1.9%減）、大阪772kg（同24%増）を排出しました。2020年度と比べ、全体として9%増加しました。
- 2) その種類は、本社においては、段ボールが81%、可燃ゴミ15%となっていました。東京と大阪は、可燃ゴミがそれぞれ、63%、44%と比較的に多くなっていました。東京と大阪では可燃ゴミをいかに減らしていくかが課題です。
- 3) リサイクル率は、本社83%（2020年度：83%）、東京37%（同：38%）、大阪56%（同：80%）となっていました。本社が高いのは、雑誌・新聞・段ボールの占める割合が高いためと思われます。

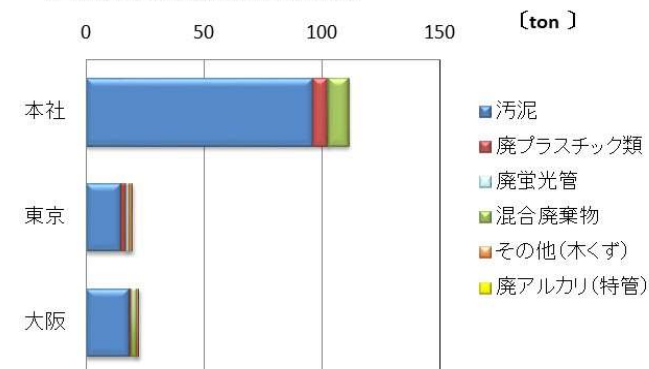
<図7：一般廃棄物の排出量と種類>



■産業廃棄物排出量

- 1) 発生する産廃は、顧客のろ過装置から発生するろ材や塩ビ管（廃プラ）ならびに凝集沈殿スラッジ（汚泥）であり、現段階では、すべて埋立処分となっています。
- 2) 2021年度排出量は、本社103t（2020年度：24.8t）、東京28.2t（2020年度：35.6t）、大阪21.6t（2020年度：3.2t）となり、本社と大阪で、大幅に増加しました。
- 3) 産廃発生量は通常運転時に発生するものだけでなく、新設工事時や更新時などにおいても大量に発生するため、毎月発生する産廃量を毎月の累計施設数で割った値を長期的にモニタリングしながら、統計的な適正範囲で管理していくことにします。

<図8：産業廃棄物の排出量と種類>



C. 水使用量

- 1) 本社の上水使用量は228m³で、ドラム缶（200L）で換算すると1140本分に相当します。2020年度使用量238m³から、10m³（4.2%）減少しました。本社では、上水の他、駐車場の消雪用に冬期間地下水を利用していますが、メーターが設置されておらず、現段階での使用量は把握できていません。
- 2) 東京の上水使用量は166m³で、ドラム缶（200L）で換算すると830本分に相当します。2020年度使用量187m³から、21m³（11%）減少しました。
- 3) 大阪の上水使用量は67m³で、ドラム缶（200L）で換算すると335本分に相当します。昨年度使用量79m³から、12m³（15%）減少しました。



D. その他（化学物質等）

- 1) PRTR対象化学物質が含有される薬品類の使用はありません。
- 2) 毒劇法に基づく、劇物（硫酸、苛性ソーダ等）については、購入使用量を把握し、適正管理に努めています。



6. 環境経営目標及びその達成状況



1) 総二酸化炭素排出量

東北支店の膜洗浄で発生した分は除きます。(※)

環境目標項目	中期目標(期間:2021~2023年度)	備考
総二酸化炭素排出量	東北 基準年度実績値から19%削減 72,516	単位:kg-CO ₂
	東京 基準年度実績値から4%削減 45,058	
	大阪 基準年度実績値から4%削減 27,796	
	合計 全体として基準年度実績値から12.1%削減 145,370	

目標達成状況(2021)	本社	東京	大阪	総合
基準年度実績値[kg-CO ₂]	83,976	47,398	29,196	160,570
基準年度	2014	2020	2020	
2021年度目標	削減率 17.0%	2.0%	2.0%	9.8%
	目標値[kg-CO ₂] 69,700	46,450	28,613	144,763
2021年度実績	71,677	38,582	22,800	133,058
削減率 ※「-」は増加を示す	14.6%	18.6%	21.9%	17.1%
評価(○…達成, △…削減したが目標に達せず, ×…未達)	△	○	○	○

<総二酸化炭素排出量>



本社において目標を達成できなかったものの、全社的にガソリン、軽油、LPGなどの化石燃料使用量が削減され、全体としての目標は達成することができました。

※お客様の地下水浄化プラントで使用しているろ過膜の洗浄作業で使用する電力や水については、削減目標を設定し管理していくことは、現実的に難しいことから、対象外としています。

2) 電力使用量

東北支店の膜洗浄で使用した分は除きます。(※)

環境目標項目	中期目標(期間:2021~2023年度)	備考
電力使用量 ※東北は膜洗浄で 使用した分を除く	東北 基準年度実績値から32%削減 23,625	単位:kWh
	東京 基準年度実績値から8%削減 29,641	
	大阪 基準年度実績値から20%削減 7,085	
	合計 全体として基準年度実績値から20.4%削減 60,352	

目標達成状況(2021)	本社	東京	大阪	総合
基準年度実績値[kWh]	34,743	32,219	8,856	75,818
基準年度	2010	2010	2015	
2021年度目標	削減率 30.0%	6.0%	18%	18.4%
	目標値[kWh] 24,320	30,286	7,262	61,868
2021年度実績	27,296	26,463	6,970	60,729
削減率 ※「-」は増加を示す	21.4%	17.9%	21.3%	19.9%
評価(○…達成, △…削減したが目標に達せず, ×…未達)	△	○	○	○

<電力使用量>

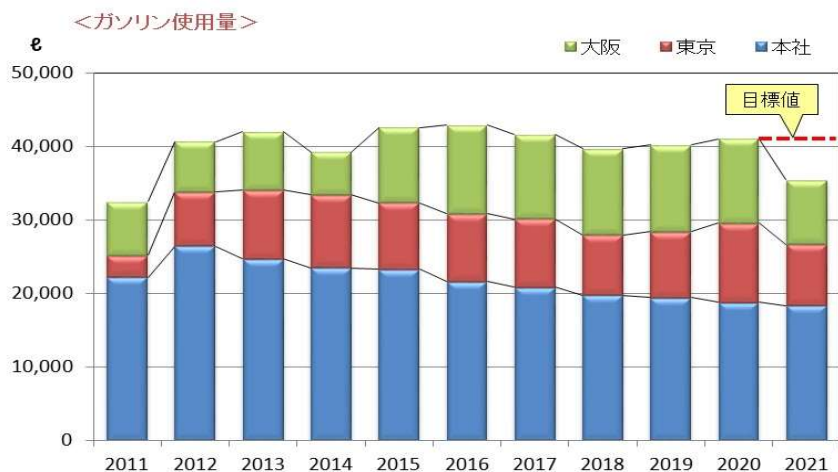


- 【本社】1月に薬品凍結防止のため、薬品庫に電気ストーブを設置したことが目標未達の原因となりました。
- 【東京】照明のLED化と夏場の冷房期の電力消費をうまくコントロールできたことが目標達成に結びつきました。
- 【大阪】現場への直行直帰が増加し、事務所滞在時間が減っていることと人員の減少により、使用量が減少しました。

3) ガソリン使用量

環境目標項目	中期目標(期間:2021~2023年度)			備考
ガソリン使用量	東北	基準年度実績値から32%削減	17,974	単位:ℓ
	東京	基準年度実績値から4%削減	9,427	
	大阪	基準年度実績値から8%削減	11,115	
	合計	全体として基準年度実績値から21.8%削減	38,517	

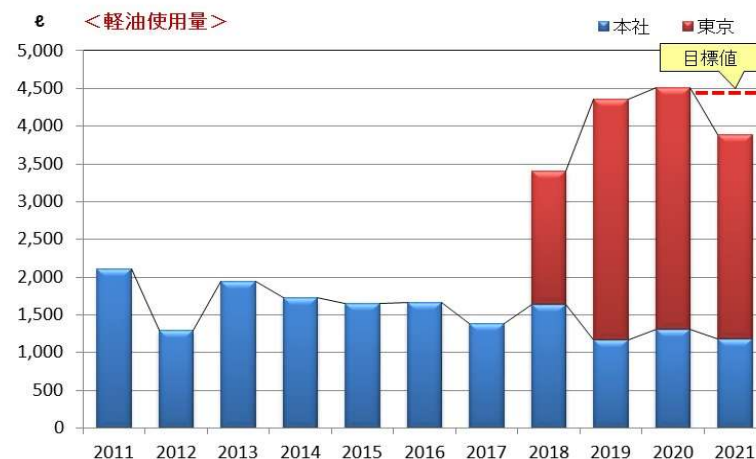
目標達成状況(2021)		本社	東京	大阪	総合
基準年度実績値[ℓ]		26,433	10,713	12,082	49,228
基準年度		2012	2020	2016	
2021 年度目標	削減率	30.0%	2.0%	6.0%	18.0%
	目標値[ℓ]	18,503	10,499	11,357	40,359
2021年度実績		18,340	8,347	8,767	35,453
削減率 ※「-」は増加を示す		30.6%	22.1%	27.4%	28.0%
評価(○…達成, △…削減したが目標に達せず, ×…未達)		○	○	○	○



4) 軽油使用量

環境目標項目	中期目標(期間:2021~2023年度)			備考
軽油使用量	東北	基準年度実績値から23%削減	1,264	単位:ℓ
	東京	基準年度実績値から4%削減	3,079	
	合計	全体として基準年度実績値から10.4%削減	4,343	

目標達成状況(2021)		本社	東京	総合
基準年度実績値[ℓ]		1,642	3,207	4,849
基準年度		2018	2020	
2021 年度目標	削減率	21.0%	2.0%	8.4%
	目標値[ℓ]	1,298	3,142	4,440
2021年度実績		1,175	2,709	3,884
削減率 ※「-」は増加を示す		28.5%	15.5%	19.9%
評価(○…達成, △…削減したが目標に達せず, ×…未達)		○	○	○



【本社】コロナ渦の影響で、県外への営業を控えたため、走行距離が減少し、その分、ガソリン消費量が減りました。

【東京】全てエコカーになったこと、コロナの影響で全体的に走行距離が減ったことから、ガソリン使用量が削減しました。

【大阪】車両の入替と人員減少による運行台数の減少によって、ガソリンの使用量が減りました。

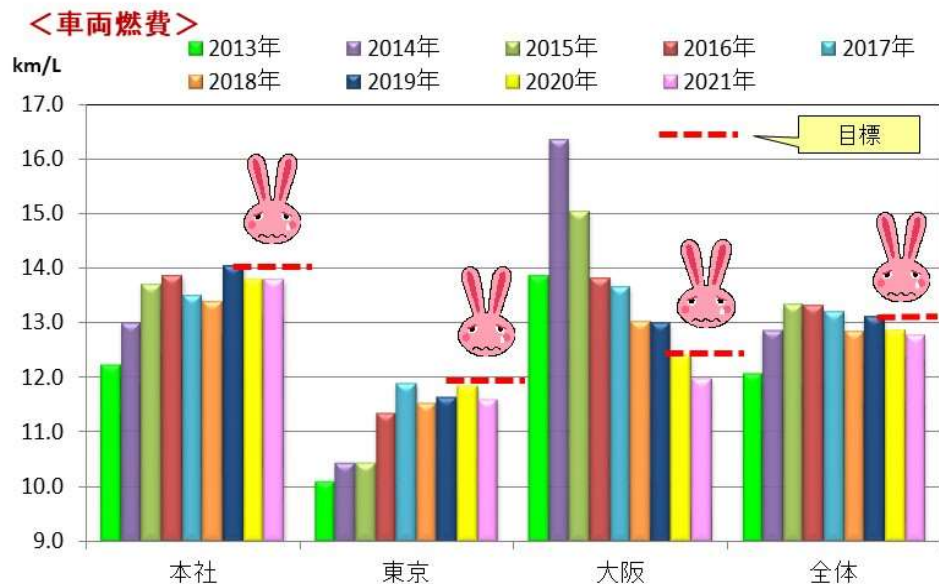
【本社】大きい荷物の運搬や工事の有無によって左右されますが、日々のメンテナンスや積載物の軽減化により燃費向上に努めています。

【東京】基準年度に比較して、トラックの使用頻度が減少し、走行距離も減少したことが目標達成の要因と思われます。業務の状況によって、今後も大きく変動が考えられます。

5) 車両燃費

環境目標項目		中期目標(期間:2021~2023年度)		備考
車両燃費	東北	基準年度燃費を20%向上	14.3	単位: km/ℓ
	東京	基準年度燃費を16%向上	12.2	
	大阪	基準年度燃費を17%向上	12.9	
	合計	基準年度燃費を8.3%向上	13.1	

燃費(km/L)	目標	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
本社	14.0	12.2	13.0	13.7	13.9	13.5	13.4	14.1	13.8	13.8
東京	12.0	10.1	10.4	10.5	11.4	11.9	11.5	11.7	11.9	11.6
大阪	12.5	13.9	16.4	15.0	13.8	13.7	13.0	13.0	12.4	12.0
全体	13.1	12.1	12.9	13.4	13.3	13.2	12.9	13.1	12.9	12.8



【本社】短距離での走行が増加したためと思われます。

【東京】今まではトラックで全ての現場の薬品を運搬していましたが、数缶しか運ばない現場では担当者が運搬するようになったので、積載重量が増加に伴い、燃費が悪くなったと考えられます。

【大阪】薬品の搬入のため、車両の積算重量の増加に伴い、燃費が低下しております。

6) LPG使用量

環境目標項目		中期目標(期間:2021~2023年度)		備考
LPG使用量	東北	基準年度実績値から24%削減	2,448	単位: m3

目標達成状況(2021)		本社
基準年度実績値[m3]		3,221
基準年度		2010
2021年度目標	削減率	22.0%
	目標値[m3]	2,512
2021年度実績		2,179
削減率 ※「－」は増加を示す		32.4%
評価(○…達成, △…削減したが目標に達せず, ×…未達)		○



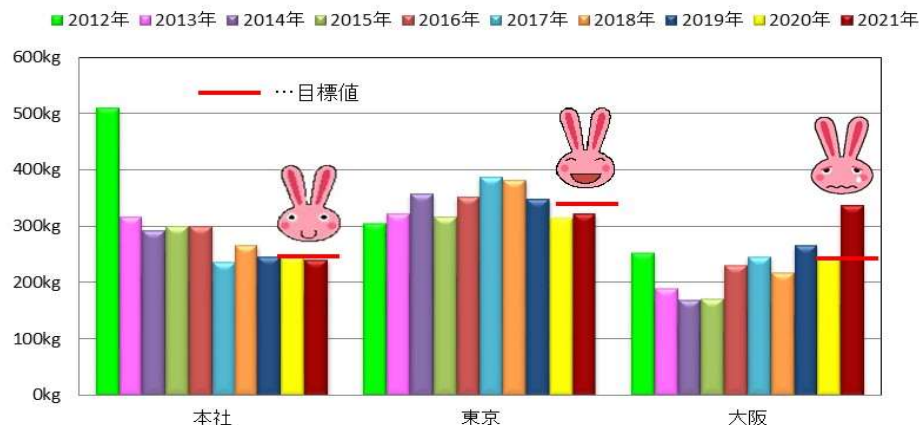
【本社】環境負荷が大きくなる冬季において、比較的使用量を抑制できたことが目標達成の要因と思われます。夏場はポロシャツ着用や小まめな室温管理を行いました。

7) 一般廃棄物排出量（可燃ごみ&リサイクル率）

環境目標項目		中期目標（期間：2021～2023年度）		備考
一般廃棄物 （可燃ごみ） 排出量	東北	基準年度実績値から55%削減	230	単位：kg
	東京	基準年度実績値から15%削減	329	
	大阪	基準年度実績値から14%削減	230	
	合計	全体として基準年度実績値から32.3%削減	789	

目標達成状況（2021）		本社	東京	大阪	総合
基準年度実績値[kg]		511	387	267	1,165
基準年度		2012	2017	2019	
2021 年度目標	削減率	53.0%	13.0%	12.0%	30.3%
	目標値[kg]	240	337	235	812
2021年度実績		241	313	338	892
削減率 ※「-」は増加を示す		52.8%	19.2%	-26.6%	23.5%
評価（○…達成，△…削減したが目標に達せず，×…未達）		△	○	×	△

<可燃ゴミ排出量>



【本社】梱包資材のリサイクルや、紙資源の仕様数削減に取り組んでいます。

【東京】緊急事態宣言中によるシフト制出勤によりゴミが減りました。

【大阪】今まで産廃に出していたプラスチックごみを可燃ごみとして排出するようになったため、大幅に増加しています。

環境目標項目		中期目標（期間：2021～2023年度）
一般廃棄物 （リサイクル率）	東北	リサイクル率75%以上を維持
	東京	リサイクル率45%以上を維持
	大阪	リサイクル率70%以上を維持

目標達成状況（2020）	本社	東京	大阪
目標[%]	75%	45%	70%
2020年度実績	83%	38%	61%
評価（○…達成，△…削減したが目標に達せず，×…未達）	○	×	×

<一般廃棄物リサイクル率>



コロナウイルス感染防止のため、昼食の外出が減り、社内で食べるようになったことがリサイクル率の低下の要因の一つかもしれません。

売上高あたりの発生量は、売り上げ減により、上昇しましたが、長期的に見れば減少傾向が続いています。

<売上高当たりの一般廃棄物排出量の推移>



8) 産業廃棄物排出量

目 標 (単年度・中長期)	のべ物件数あたりの産廃発生量を 適正な範囲に維持		
※適正範囲は毎年見直す	本社	東京	大阪
2012～2020年度 における5年ごとの 実績値から求めた 統計値	平均値	71	76
	標準偏差	7.7	9.9
	95%上端値	84	92
	95%下端値	59	60

<のべ物件数あたりの産廃発生量(5年平均値)>



【本社】某工場のろ材交換ならびに新工場井戸掘削工事により汚泥量が増えています。一時的な要因であり、今後は落ち着いてくると思います。

【東京】5年間の累積産廃排出量は、取組み開始以来最低になり、また、物件数は過去最高となり、統計的に見た変動許容幅の下限値を下回っています。悪い傾向ではないので変動幅を見直し、このまま、推移を見守りたいと思います。

【大阪】水質が比較的良好な物件を抱えていることから、本社・東京と比して、産廃の発生量が圧倒的に少なくなっており、変動もほとんどありません。また、再利用できるものは、他物件で使用するようにしています。

9) 水使用量

東北支店の膜洗浄で使用した分は除きます。(※)

環境目標項目	中期目標(期間:2021～2023年度)		備 考
水使用量 ※東北は膜洗浄で 使用した分を除く	東北	基準年度実績値から4%削減	207
	東京	基準年度実績値から5%削減	219
	大阪	基準年度実績値から4%削減	76
	合計	全体として基準年度実績値から4.4%削減	502

目標達成状況(2021)		本社	東京	大阪	総合
基準年度実績値[m ³]		216	230	79	525
基準年度		2020	2019	2020	
2021 年度目標	削減率	2.0%	5.0%	2.0%	3.3%
	目標値[m ³]	211	219	77	507
2021年度実績		212	166	67	445
削減率 ※「-」は増加を示す		1.9%	27.8%	15.2%	15.3%
評価(○…達成, △…削減したが目標に達せず, ×…未達)		△	○	○	○

<水使用量の推移>



【本社】主に生活用水になりますが、これ以上の節水はなかなか難しい状況です。

【東京】緊急事態宣言中のシフト制出勤により使用量が減りました。

【大阪】2019, 2020年度と一時的に増加しましたが、2021年度は平年並みに戻りました。増加の要因は、臨時にタンクや配管の洗浄に用いたためであり、今後も継続するものではありません。

10) 化学物質使用量（塩素消費量）

目 標 (単年度・中長期)	造水量1m3あたりの塩素使用量を 適正な範囲に維持		
※適正範囲は毎年見直す	本社	東京	大阪
実績評価期間	2016～2020	2016～2020	2018～2020
平均値	12.6	12.7	5.2
標準偏差	1.8	1.2	0.5
95%上端値	15.7	14.7	6.0
95%下端値	9.6	10.7	4.4

<造水量1m3あたりの塩素使用量>



【本社】 11月以降、塩素濃度の上昇傾向が続き、4月に上限ぎりぎりとなりました。水質が比較的悪いプラントでの増水量が増加しているためと考えられます。某工場新工場での井戸掘削工事の影響もあると思われます。

【東京】 年度後半は、平年並みの塩素濃度を維持しており、過去の変動幅内で推移しています。

【大阪】 新型コロナウイルスの影響で薬品を多く使用する現場において、使用水量が低下したため、塩素使用量も低下しております。

11) 製品・サービスの環境負荷削減に係る環境経営目標

【目標】 メンテナンス出動回数を適正範囲に維持（長期的に削減）

<物件当たりメンテナンス出動回数の推移>

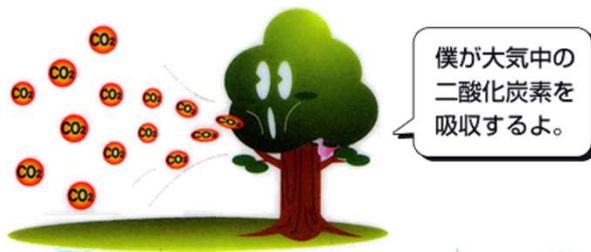


以前は、お客様の施設内に設置してある処理プラントから警報が出る度に社員が現場に赴き必要な対応を取っていました。その回数を減らすことができれば、ガソリン消費量を減らすことができるだけでなく、コスト削減に役立ちます。24時間遠隔監視システム導入により、2014年度以降、全社的には減少傾向にあります。2020年度はコロナウイルスの影響もあって、大きく減少しましたが、ここ数年は下げ止まり傾向が見られます。

【目標】 省電力システムの販売促進によりお客様のCO₂排出量を削減



2013年度から新規業務として立ち上げ、LED販売を中心に業務を展開してきました。既存機器からの切り替えによる省エネ効果を二酸化炭素削減量に換算すると2013～2021年度の累計で16,558ton-CO₂/年となります。これは、40年生の杉人工林1,882ha（東京ドーム400個）分の年間吸収量に相当します。（林野庁HPより）



12) 地域貢献関連目標（対象：本社）

【目標】 植林など森林保護活動・環境NPOへの協力

良質な地下水は豊かな森林資源が育んでいます。当社では、植林活動などの支援を目的として、「緑の募金」に毎年寄付を行っています。また、環境NPOなどが主催する地球温暖化防止活動などに積極的に参加協力しています。

【目標】 会社周辺の清掃活動を実施（年2回以上）

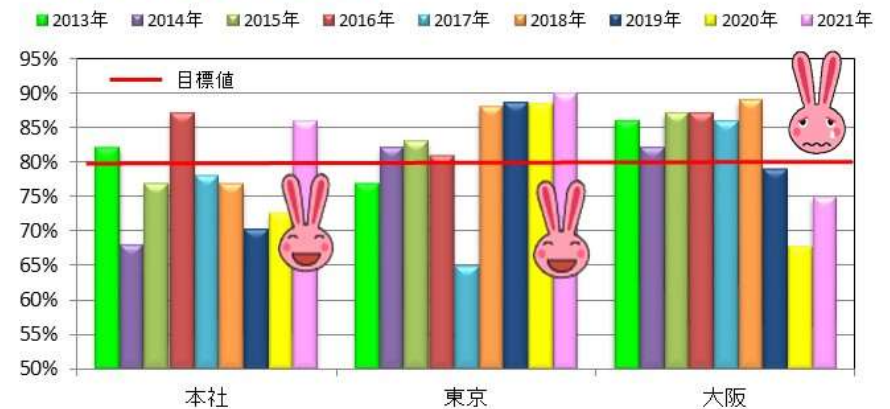
冬期間を除き、ほぼ毎月、本社（東北支店）周辺の清掃活動を実施しています。



13) グリーン購入

環境経営目標には入っていませんが、環境経営計画の取組みで、グリーン購入の取組みを推進しています。

<グリーン購入率の推移>



7. 環境経営計画と取組状況の評価



＜評価判定の目安＞

- …実施済。80%以上の社員が取組んでいる。80点以上の満足度である。
- △…一部未実施。50～80%の社員が取組んでいる。50～80点ぐらいの満足度である。
- ×…未実施。50%未満の社員しか取組んでいない。50点未満の満足度である。（是正処置の対象）

（2022年4月現在）

環境目標	活動・取組項目	活動の具体的内容	本社	東京	大阪	是正処置の必要性
二酸化炭素排出量の削減	消費電力の削減 (LPGガス使用量の削減)	室温は気象条件などに配慮し、適切な温度で管理する。	○	○	○	
		定期的にエアコンのフィルターを清掃する	○	○	○	
		廊下・トイレなどの照明に人感センサーを取り付ける	○	△	○	東京は対象外
		OA機器・家電製品の待機電力の削減(コンセントを抜くなど)	○	○	○	
		プラントのポンプ類更新の際はトップランナー機器を採用する	○	○	○	
	車両運行に伴う化石燃料使用量の削減	エコドライブ10の実践	○	○	○	
		アイドリング停止の徹底とタイヤ空気圧のチェック	○	○	○	
		遠方の現場での連続複数日の業務の場合はなるべく宿泊する	○	○	○	
		不要な積荷を下ろし、軽量化に努める	○	○	○	
		オイル(5000km毎)とエレメント交換(1万km毎)	○	○	○	
	メンテナンスの効率化	ハイブリッド車などのエコカーの導入(計画的に実施)	○	△	△	
		遠隔監視システム導入等によるメンテナンス業務の効率化推進	○	○	○	
		スマホの活用によるメンテナンス作業の効率アップ	○	○	○	
		WEB会議の活用	○	○	○	
		WEB会議の活用	○	○	○	
の削減と廃棄物の適正管理	一般廃棄物削減と分別の徹底	分別ルールの掲示と周知・実践・廃棄物置場の整理整頓	○	○	○	
		紙類をシュレッダーにかけてリサイクルする	○	○	○	
		不要な資料提供の辞退	○	○	○	
		OA紙の裏表利用・縮小コピーなど	○	○	○	
		スマホを活用した電子決済システムの活用	○	○	○	
	産業廃棄物の削減と適正管理	保管場所の適正管理	○	○	○	
		契約書・Manifestoの管理ならびに実績報告	○	○	○	
		工事現場での分別収集(リサイクル可能な種類を対象)	○	○	○	
		分別収集(リサイクル可能な種類を対象)	○	○	○	
		分別収集(リサイクル可能な種類を対象)	○	○	○	
総排水量の削減	水道使用量の削減 (地下水の適正利用)	自動水栓への交換(計画的に実施)	△	△	△	東京は対象外
		漏水の確認	○	○	○	
		節水器具導入の検討	○	△	○	東京は対象外
化学物質削減関連	化学物質使用量の削減	使用量の把握ならびに保管状況の確認	○	○	○	
		SDS管理と更新(新規導入薬品の管理)	○	○	○	
グリーン購入	グリーン購入	エコ商品の情報収集と情報の共有化	○	○	○	
		名刺等印刷物のグリーン化推進	○	○	○	
		設備・機器・車両購入時の環境影響評価	○	○	○	
製品・サービス関連	省エネシステムの販売促進	顧客に対するプレゼンテーション等の実施	○	○	○	
		TVコマーシャル等マスコミを活用したPR	○	△	△	本社対象
		販売促進資料の整備と情報の収集	○	○	○	
現場での取組	現場周辺の環境保全とリスク管理	施工現場で使用する照明をLEDとする	○	○	○	
		建設現場取組チェックシートの活用	○	○	○	
地域貢献その他	森林保護活動への協力	森林保護団体への寄付	○	△	△	本社対象
		環境施策への協力	○	△	△	本社対象
		地域の環境保全への協力	○	△	△	本社対象
留意事項	※太字の項目は、「製品・サービス関連目標」に属する活動計画である。下線文字の項目は新規活動項目、斜体文字は建設現場での取組項目である。					

＜2021年度取組状況の総括＞

半期ごとに取組み状況の評価を行っていますが2期連続で取組が不十分と判定された場合、是正の対象としています。2021年度は、是正に該当する項目はありませんでしたが、ハイブリッド車の導入や自動水栓への交換などが計画的には行われていないと判断されています。2022年度は計画的に進めていく所存です。



年2回（5月、11月）の全体会議時に合わせ、環境教育を行っています。2021年5月以降の会議と教育はWEBを活用して実施しました。



8. 2022年度の環境経営目標と環境経営計画



8-1. 環境経営目標

2022年度においては、2021年度の実績をもとに無理のない、新たな目標を設定し、取り組んでいきます。これ以上の削減が難しい項目については、維持目標とします。また、中期目標についても2021年度の実績と事業計画や環境政策の動向等を見据えながら、毎年、見直しを行っていくこととします。

8-2. 環境経営計画

効果があまり期待できない項目を削除するとともに、費用対効果を考えながら新たな取組みを追加し、マンネリ化の防止を図っていきます。建設現場においては、現場の状況に応じた重点取組み項目を定め、下請け業者も含めた取組みを推進していきます。また、SDGsとの関連を意識して取組み項目の設定を行います。

<中山工場の竣工に向けて>

地下水浄化装置の製造拠点とすべく、2021年12月に山形県中山町の「なかやま西部工業団地」に工場建設用地（900坪）を取得しました。2022年10月の竣工に向け、現在、建設工事が進んでいます。

この工場については、当面、当社社員は常駐せず、浄水設備プラントを製造する外注下請け業者が管理運営を行う計画です。したがって、エコアクション21のサイトには含めません。



9. 環境関連法規等の遵守状況・訴訟等の有無



9-1. 適用される環境関連法規等とその遵守状況

2022年6月30日付で遵守状況を確認した結果は、下記のとおりでした。

■廃棄物処理法

建設現場も含め、遵守状況に問題ありません。

■自動車リサイクル法 ■家電リサイクル法

車両の更新の際、廃車の処理については、同法に基づき、適切に処理しています。家電リサイクル法に該当する案件はありません。

■水質汚濁防止法（油水分離槽） ■下水道法

事故等の発生はありませんでした。

■毒劇物取締法

本社（東北支店）のみ、非届出業者に該当しますが、紛失防止措置等の要求事項に問題はありませんでした。事故等の発生もありません。

■フロン排出抑制法

本社の空調用ヒートポンプについては業者に委託、その他の業務用エアコンについては、簡易点検表を作成し、定期的に点検し記録を残しています。

9-2. 訴訟等の有無

環境面での訴訟、行政処分等は、創業以来、一度もありません。また、外部からの環境に関する苦情は、過去3年間ありません。



10. 代表者による全体の評価と見直し

2010年度取組開始以降の二酸化炭素削減率は、2021年度実績で17%となっていますが、パリ協定での日本の目標46%には遠く及ばないのが現状です。そういった意味において、省エネルギーの成果は十分とは言えませんが、所謂「ケチケチ運動」ととどまらず、過去の実績に基づいて統計的な管理手法を取り入れていること、地下水浄化装置のメンテナンスの効率化、省電力事業の推進など、経営と密着した取組みを進めており、環境経営としての有効性は高いと自負しています。

業務量の増加、増員などの影響により、環境負荷がある程度増加することはやむを得ません。極力無駄を省きながら、経営効率化の推進と従業員のモチベーションを上げる取組みを重視しつつ、特に省電力事業部門での営業活動を一層強化し、お客様の環境負荷削減に寄与していく所存です。具体的には、LEDを中心とした営業展開から、変圧器、空調設備、LPG発電機、省エネコンサルタント業務へと間口を広げ活発な営業展開を行ってまいります。

おかげさまで、2021年6月、環境大臣から「環境保全功労者表彰」を受賞しました。これを機に、持続可能な開発目標（SDGs）との関連性を意識しつつ、エコアクション21の取組みを一層推進していく所存です。

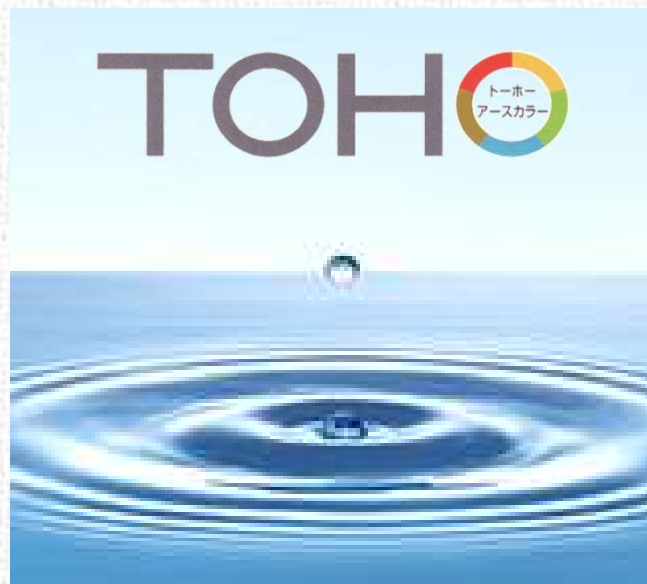
2022年7月20日

代表取締役社長 横澤裕一



＜EA21環境経営システム変更の必要性和主な変更内容＞

■環境経営方針	変更の必要はない。
■環境経営目標	2021年度の実績をもとに、環境経営目標値を柔軟に見直すこと。
■環境経営計画	効果が期待できないような項目は削除し、一つでも二つでも新たな取り組みを加え、マンネリ化を防ぐこと。車両燃費の向上に資する取り組みを充実させること。
■実施体制	一部推進員の交代。
■システム全般	特に大きな変更点はない。



〒994-0063 天童市東長岡4丁目2番17号
TEL023-658-4115 FAX023-658-4114

この環境経営レポートは、ご希望の方に差し上げています。
ご希望の方は、本社・各支店窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡下さい。
また、当社HP (<http://www.tohoinc.com/>)，エコアクション21中央事務局
のHP (<http://www.ea21.jp/>) でもご覧いただけます。